

公表

## 事業所における自己評価結果 (児童発達支援 職員)

事業所名	社会福祉法人 白鷹町社会福祉協議会 児童発達支援センターにこっと			公表日	令和8年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	重複して個室を必要とする場合は、時間を競ってしたり声がけを譲り合いをしたりして工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	今度より職員の配置を増員した。	金曜日は一对一の児童が多く、代替職員の配置をしている。発達特性に応じた職員配置が必要である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	施設内に児童の理解を補助するための絵図が多く掲示されており、視覚的な支援に力を入れている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		午睡時間の確保が難しい時(期間)もある。感染症対策の一つとして、空気清浄機の設置が必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		職員による本評価に加えて、各職員が個別に取り組む業務改善評価に取り組みたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	本評価で、保護者はじめ関係事業所より広く、細部にわたって評価いただき、業務運営に活かすことができた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ほぼ毎日、一日の支援を振り返り時間が設けられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	保護者、各関係施設からの本評価も第三者評価と理解している。また、当センター運営委員より広く評価や助言をいただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	所内はもちろんのこと外部主催の研修会にも積極的に参加して研鑽に励んでいる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	児発キャップを核として、児発管やOT,STからの専門的な視点も加えてチームでプログラムの立案に取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	柔軟なプログラムとするために、成果と課題分析による新たな支援の方向性を新規に加えるよう工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日、チーム連携に係る時間の確保をチームで心がけている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	職員一人一人が、支援の振り返りの時間を大切にして業務にあたっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の記録の集積は、児童の成長のプロセスそのものであることを認識して、支援の検証、改善にあたっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者（主任）と相談支援専門員を中心として、適切に参加対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	当社会福祉協議会では、保育所事業、障がい児支援事業においてインクルージョン保育（療育）を指針に掲げて業務を遂行している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学先小学校、中学校と連携して支援の実態を情報共有して、相互理解に努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	6	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	職員個々の資質向上スキルアップを目指して、幅広く所内外の各種研修会にて研鑽に励んでいる。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0	町や置賜地区、県全域に係る各協議会等に積極的に参加し、情報を共有して業務に活かしている。	
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	各施設との交流はなかなか仕組みないが、各家庭同士の交流は適切に行われている。隣接する保育園があることで交流の機会が多い。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		情報提供は行っているが、参加者が限定的になってしまうのは課題である。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	入所説明の際に丁寧な説明に心がけている。また、当社会福祉協議会ホームページにて情報を公開して理解を得ている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	丁寧な対応に心がけている。保護者との日常的な対話を通して、子育ての悩みや相談内容を聞き取っていくようにしている。	定期的に子育て相談の場を設けて案内しているが、問い合わせ（相談）がほとんどないのが現状である。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		さくらカフェや講演会など毎月行っているが、参加率が低い。傘下の呼びかけの工夫が必要である。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2	業務支援ソフト「ハグ」を4月より導入する。その中で情報発信を一層積極的に行っていく。	LINEを活用した発信をおこなっているが、今後は、児童の様子を写真で伝えることもしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報は施錠された書庫に厳格に保管管理している。また管理規則の厳守により、USB等の情報持ち出しを禁止している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域住民を招いての行事とは開催していない。地域住民用の通信も発行しておらず。今後の課題である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	事故、防災、感染症に係る安心安全マニュアルを策定し、所内研修煮て理解を深めながら訓練等も計画的に実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	非常時の速やかな業務再開を目的としたBCP計画を策定し、万が一の時に機能するよう所内研修で危機管理意識を高めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		熱誠けいれんになりやすい児童の緊急対応マニュアルを早急に作成して、職員間で共有していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	センター内給食を提供している。食物アレルギー陽性の児童については、事前にチェックしアレルギーが混入しないよう努めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画を当センターで適切に運用している。保護者への周知については、社協ホームページに掲載する。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	常に職員が危機管理意識を高く保持し続けることが重要である。些細なヒヤリハット事例も報告し合って事故未然防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	児童虐待、感染症対策、BCP、安全計画等の法的根拠に伴う所内研修を計画的に行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		適切な身体拘束は、厳格な条件下において実施されるべきものであり、当センターでは極力身	